

電力の地産地消がますます拡大します

政策企画課総合政策室
☎ 63-1273



「炭鉱のまち」から「エネルギーのまち」を目指し、平成29年、市は三井物産(株)、(株)グローバルエンジニアリングの2者の民間企業と「地域エネルギーの有効活用等を中心としたまちづくりに関する連携協定」を締結しました。現在、協定に基づいて市の活性化に資するさまざまな取り組みを推進しており、電力の地産地消もその一つです。

エネルギー施設の立地が進む荒尾市
大規模な太陽光発電施設やバイオマス発電施設をはじめ、再生可能エネルギー施設の立地が進み、エネルギーの地産地消を図るための環境が整っています。

地産地消の拡大が地域を元気にする
市内で発電された電力を市内の公共施設や民間企業に供給(地産地消)することは、地域の資金(電気料金)を地域で循環することにもつながります。今回は、地産地消をさらに拡大する新たな取り組みをご紹介します。



11月から有明エナジー(株)による一般家庭への電力供給が始まります

昨年9月から、市役所や市民病院など、従来の電力会社の電気料金よりコスト削減が可能な公共施設を対象に、電力供給を開始しました。現在、おおむね全ての公共施設に供給しており、市内の民間企業に対しても電力を供給しています。来月11月からは一般家庭への電力供給が開始され、地域で発電された電力を地域で使用する「地産地消」がますます拡大していくこととなります。

住宅用太陽光発電の固定価格買取制度の買い取り期間が11月から順次満了します

2009年11月から開始された太陽光発電の余剰電力の買い取り制度(FIT)発電者は、売電先を選択でき、決められた価格での買い取りが行われてきました。FIT期間は10年間で、早い人はこの11月以降、期間満了となり、順次、売電先との契約が終了します。FIT期間が終了すると、①売電先を選択する、②余剰電力を自家消費する(蓄電池を導入して夜間に使用するなど)といった選択を行う必要があります。



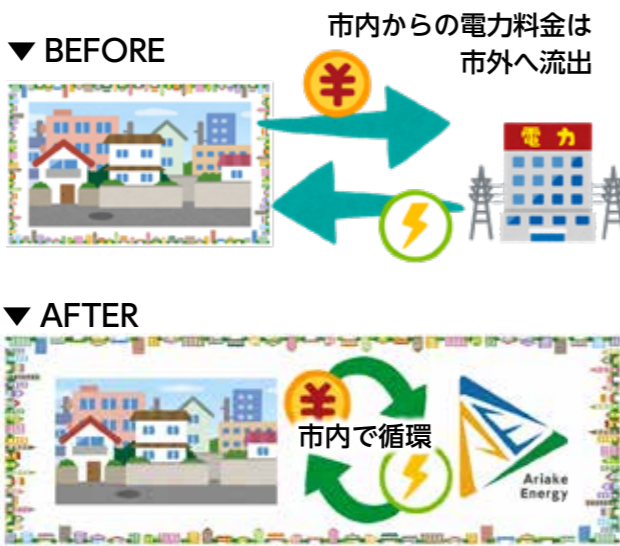
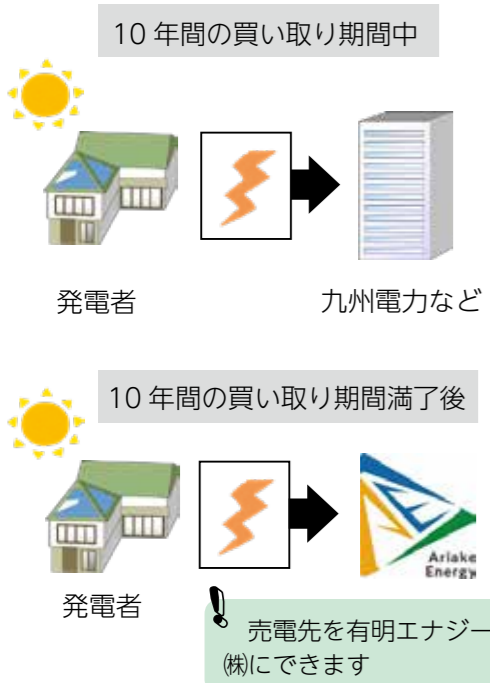
地産地消の取り組みによるメリット

従来は市外に流出していた電力料金が、市内で循環することで経済の好循環(税収の増加、雇用の創出による消費の拡大)につながります。

有明エナジー(株)による余剰電力の買い取りも実施しています

有明エナジー(株)はFIT期間が満了した住宅用太陽光発電の余剰電力の買い取りも実施します。

有明エナジー(株)が買い取った電力が市内に供給されることで「地産地消」がますます拡大します。



Check!
有明エナジー株式会社
市内に本社を置く地域新電力会社。平成29年12月、三井物産(株)、(株)グローバルエンジニアリングの2者が50%ずつ出資し、設立されました。収益の一部は市の活性化の取り組みに還元されます。

有明エナジーでは最大 10 円/kWh で卒 FIT を買取!!

面倒な手続きは一切不要・ホームページからお申込み頂くだけで手続きは完了!

初期費用・月額費用 0円



4 人家族 (40 アンペア/年間 4,800kWh ご使用量) の場合 (目安)

九州電力/従量電灯 B と比較して 1 年目は 4,314 円お得!!

※ 2 年契約の場合 / 2 年目以降は年間 845 円お得!

